2023年3月期

第2四半期 決算説明会

特種東海製紙株式会社（東証プライム：3708）

目次

1 2023年3月期第2四半期業績

2 2023年3月期業績見通し

3 IRトピックス

4 事業戦略・製紙3事業の推進

5 新たな事業領域への挑戦

6 経営基盤の強化

1 2023年3月期第2四半期業績

2 2023年3月期業績見通し

3 IRトピックス

4 事業戦略・製紙3事業の推進

5 新たな事業領域への挑戦

6 経営基盤の強化

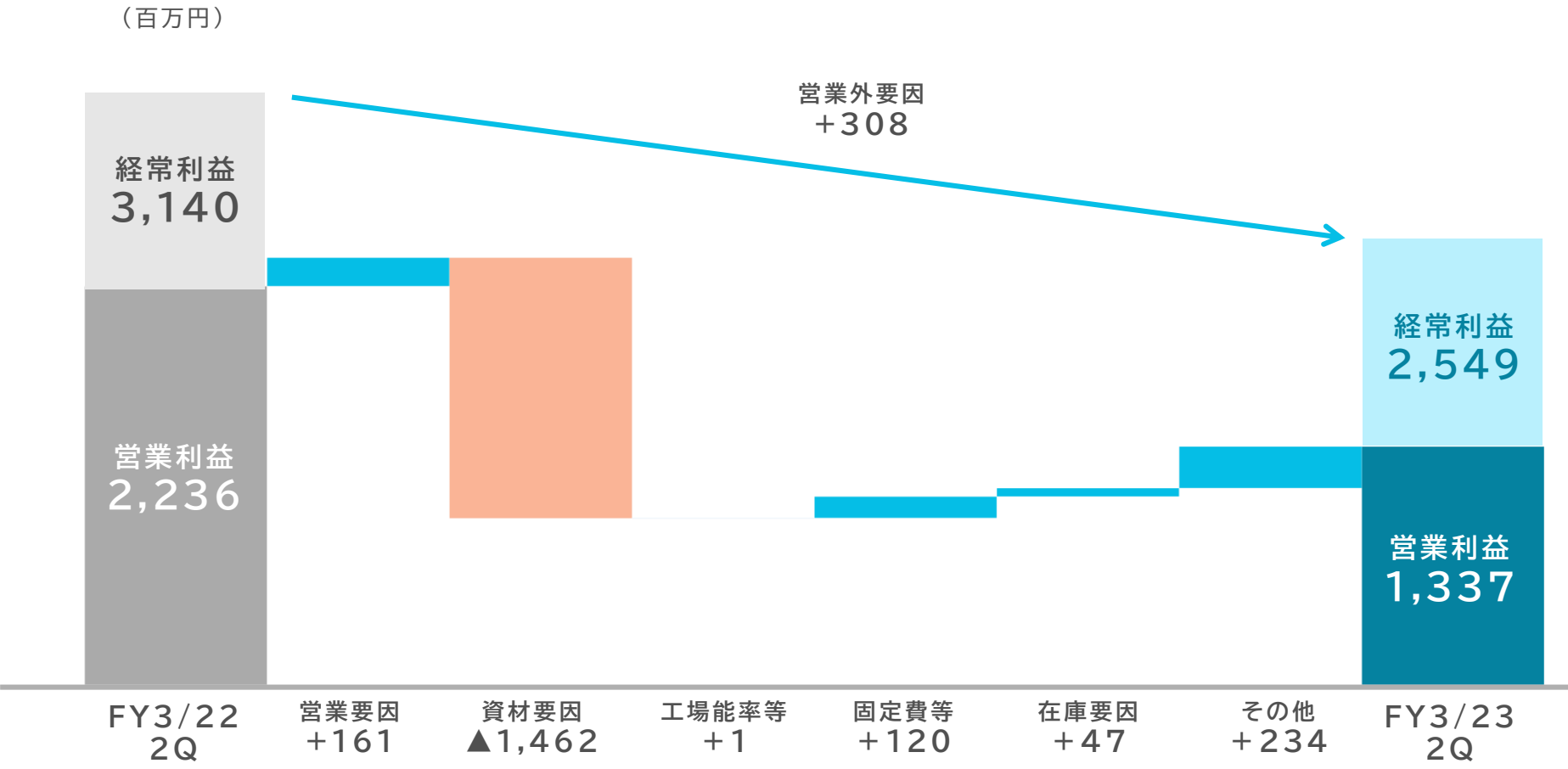
連結業績　前年同期比

- 製紙3事業の販売数量は堅調、価格修正もはじまり前年比+8.3%の増収
- パルプをはじめとした原燃料価格の高騰で営業利益は▲40.2%の減益

（百万円）	FY3/22 2Q	FY3/23 2Q	増減
売上高	38,839	42,071	3,232
営業利益	2,236	1,337	△899
経常利益	3,140	2,549	△591
親会社株主に帰属する当期純利益	3,455	3,150	△305
営業利益率	5.8%	3.2%	–

利益の増減要因　前年同期比

- 売上高の増加に加え、固定費削減の取組みや子会社利益の増加等で
  合計＋563百万円の前年比プラス要因を重ねたものの、
  製紙3事業全般において原燃料価格の高騰が製造費を圧迫し前年同期比減益



セグメント情報　前年同期比

- いずれのセグメントでも増収
- 環境関連は順調に伸長しており増収増益

（百万円）		FY3/22 2Q	FY3/23 2Q	増減
産業素材	売上高	19,199	21,846	+2,647
	営業利益	605	520	▲85
特殊素材	売上高	10,406	10,543	+137
	営業利益	1,391	718	▲673
生活商品	売上高	8,246	8,576	+330
	営業利益	349	61	▲288
環境関連	売上高	3,424	3,995	+571
	営業利益	△180	△34	+146
消去等調整額	売上高	△2,437	△2,890	▲453
	営業利益	+71	+73	+2
合　　計	売上高	38,839	42,071	+3,232
	営業利益	2,236	1,337	▲899

1 2023年3月期第2四半期業績

2 2023年3月期業績見通し

3 IRトピックス

4 事業戦略・製紙3事業の推進

5 新たな事業領域への挑戦

6 経営基盤の強化

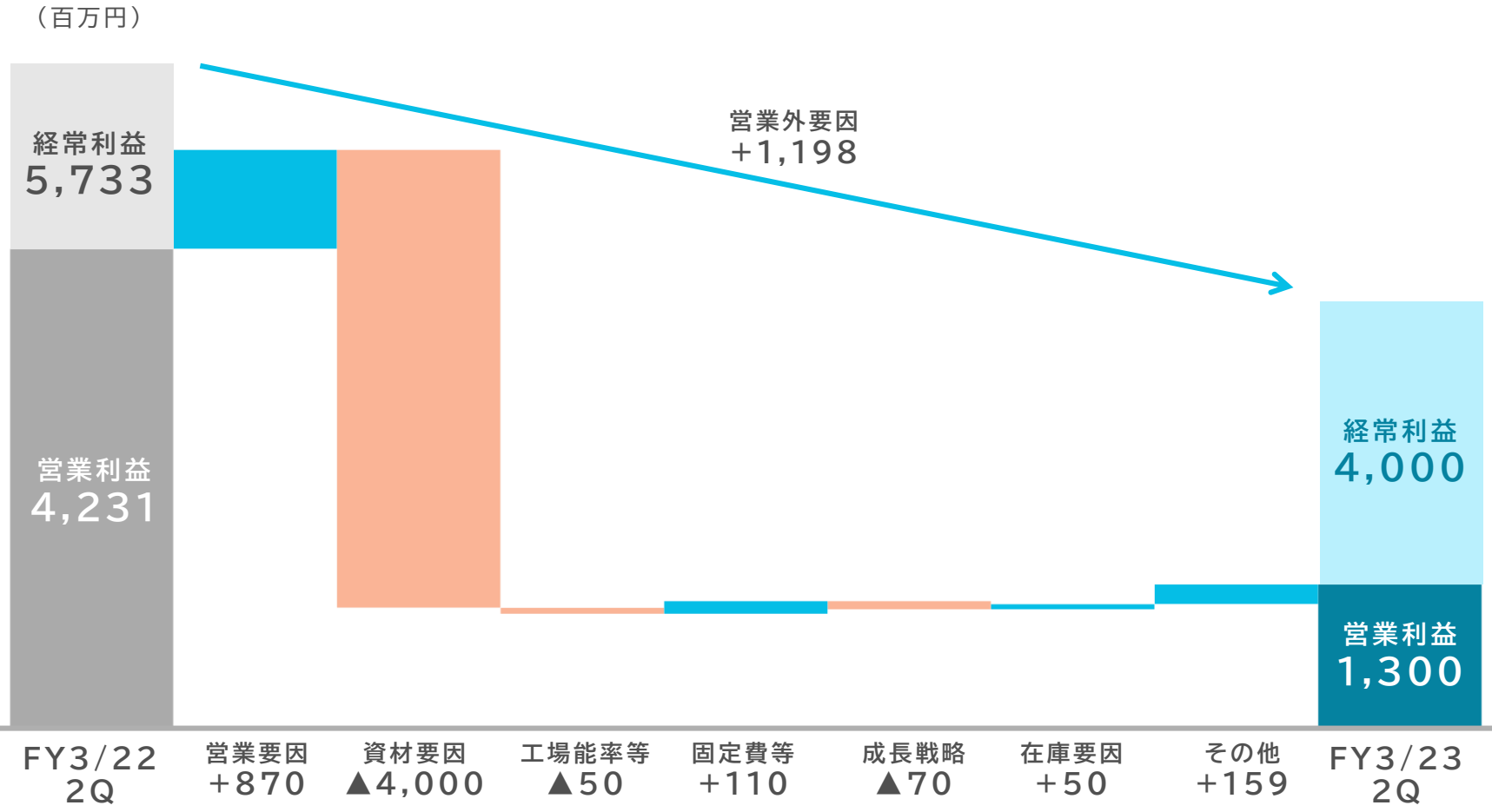
連結業績見通し　対 前期末・当初見通し

- 当初見通しの前提だった為替125円／US＄を為替150円／US＄へ見直し
- 原油価格の想定は当初見通しの100＄／B(ドバイ)で据え置き

(百万円)	FY3/22 実績	FY3/23 当初見通し	FY3/23 修正後見通し	増減
売上高	80,711	87,000	87,000	0
営業利益	4,231	3,100	1,300	△1,800
経常利益	5,733	4,000	4,000	0
親会社株主に帰属する当期純利益	5,251	3,900	3,900	0
営業利益率	5.2%	3.6%	1.5%	–

利益の増減要因　前年同期比

- 円安による原燃料価格高騰に加え、9月に発生した台風被害による水力発電停機も影響
- しかしながら、産業素材事業が底固く持分法利益により経常利益の減少幅は小さい



1 2023年3月期第2四半期業績

2 2023年3月期業績見通し

3 IRトピックス

4 事業戦略・製紙3事業の推進

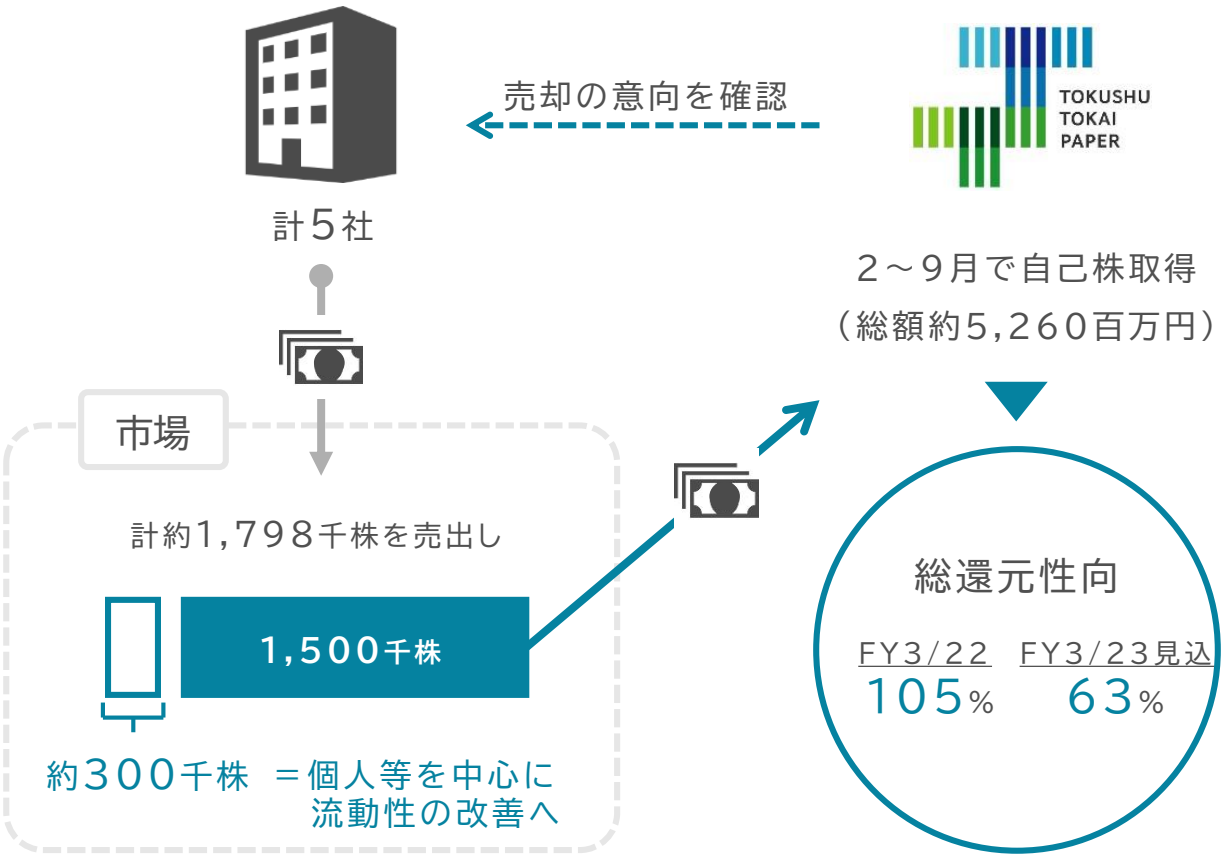
5 新たな事業領域への挑戦

6 経営基盤の強化

自己株式の消却

- 今年2月に開示した売出しに伴い、2～9月の期間で約1,500千株の自己株式を取得
- 自己株式の保有方針通り、10月付で発行済み株式総数の10%程度まで消却

売出し以降のイメージ

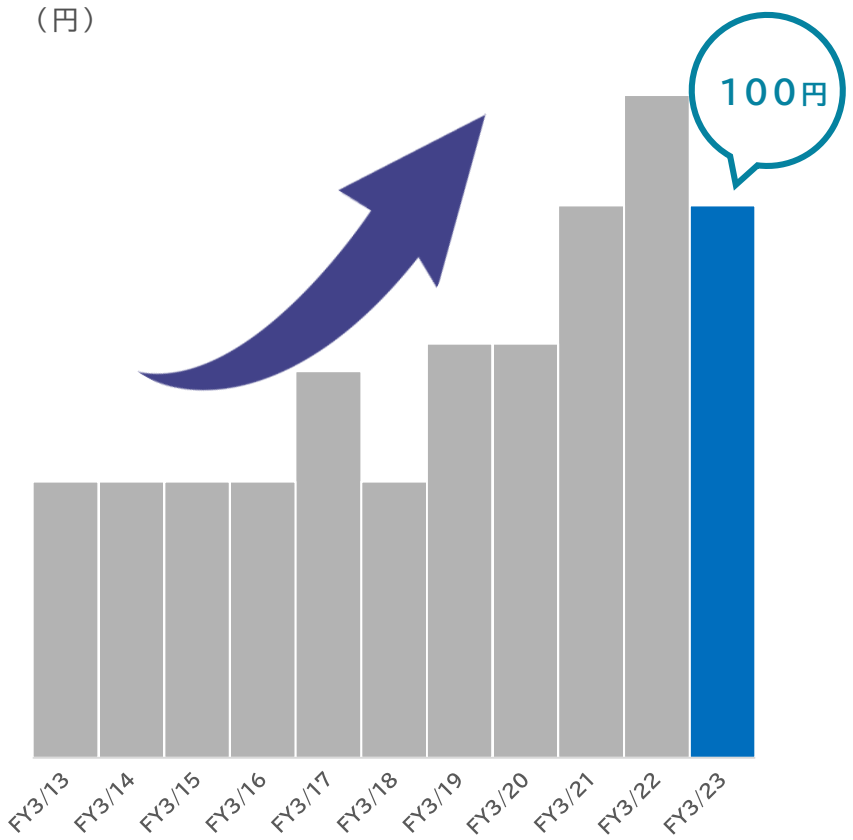


自己株式保有率

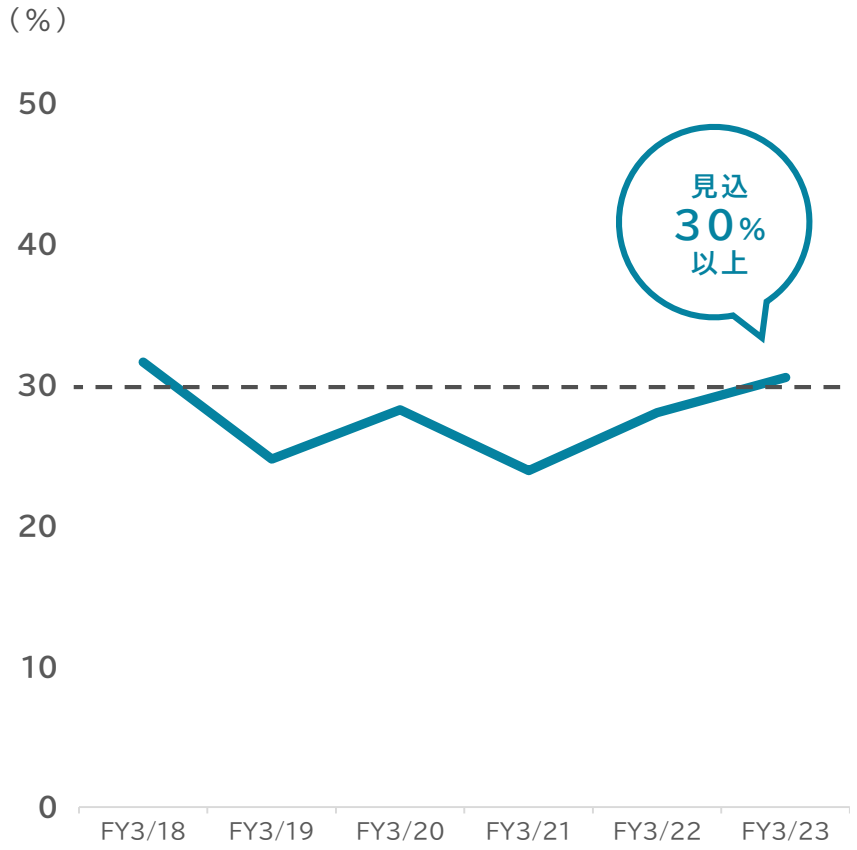
株主還元の状況

- FY3/23の1株あたりの年間配当は当初予定していた100円を据え置き
- 還元方針として掲げている連結配当性向30%はキープできる見込み

1株あたり年間配当の推移(円)



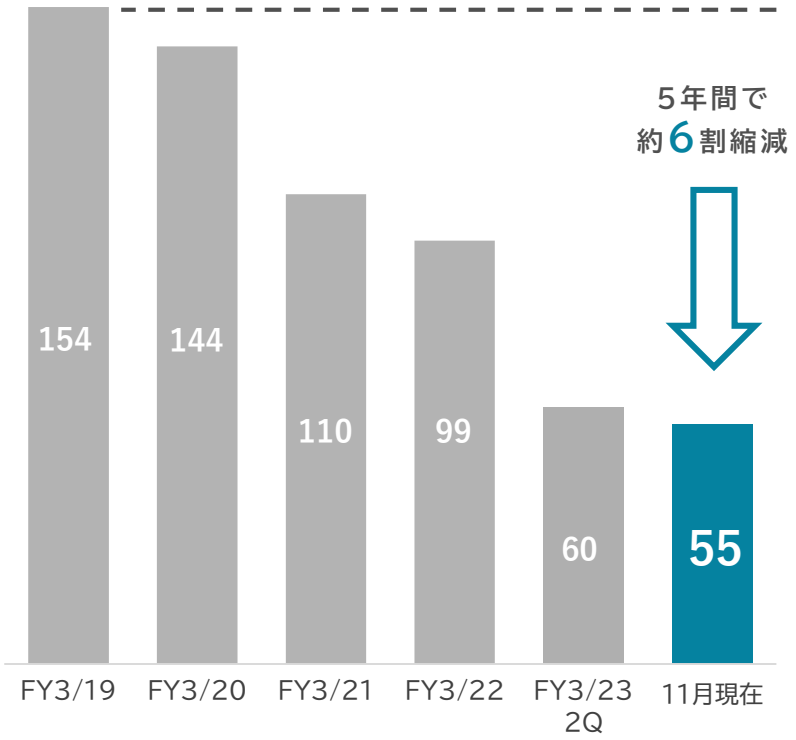
連結配当性向の推移(%)



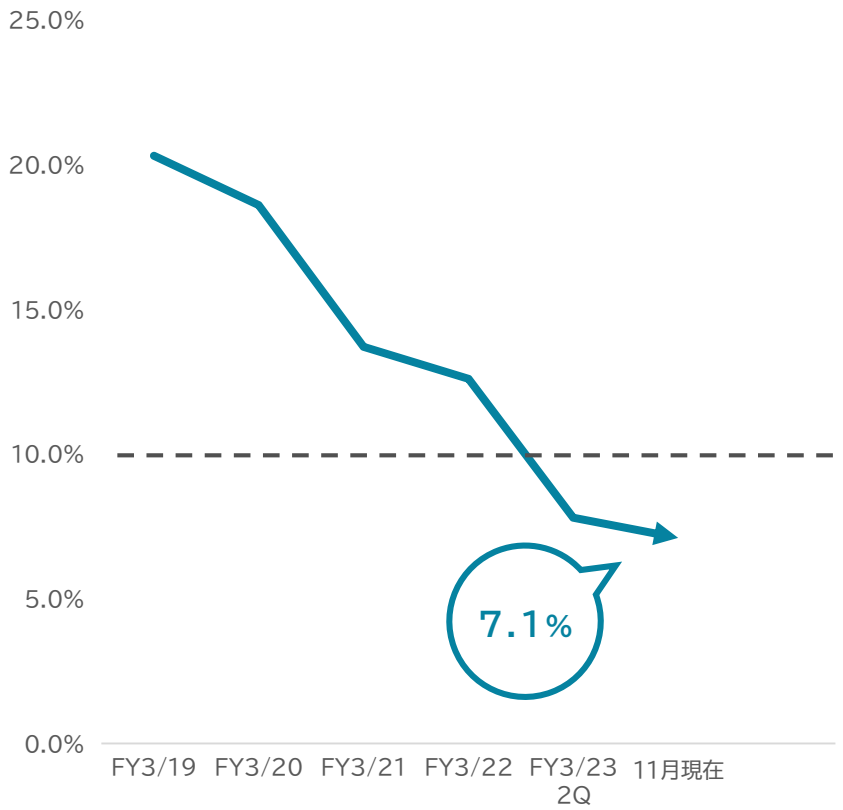
政策保有株式の推移

- 年初予定していた株式に加え、10月には新たに約5億円分の株式を売却
- 11月現在、純資産に占める政策保有株式の比率は約7.1%

政策保有株式の推移(億円)



純資産に占める政策保有株式比率(%)



※FY3/23 9月末の時価を用いて試算

1 2023年3月期第2四半期業績

2 2023年3月期業績見通し

3 IRトピックス

4 事業戦略・製紙3事業の推進

5 新たな事業領域への挑戦

6 経営基盤の強化

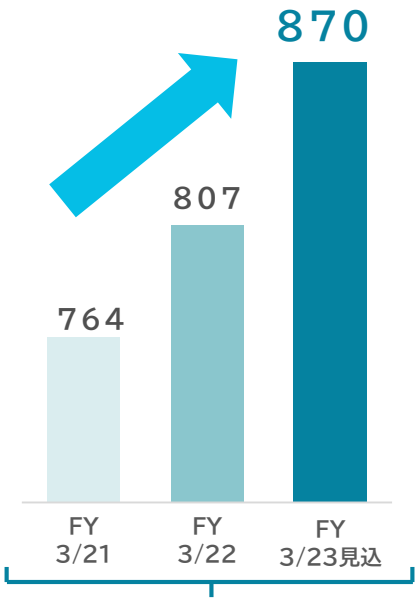
第5次中計最終年度の進捗

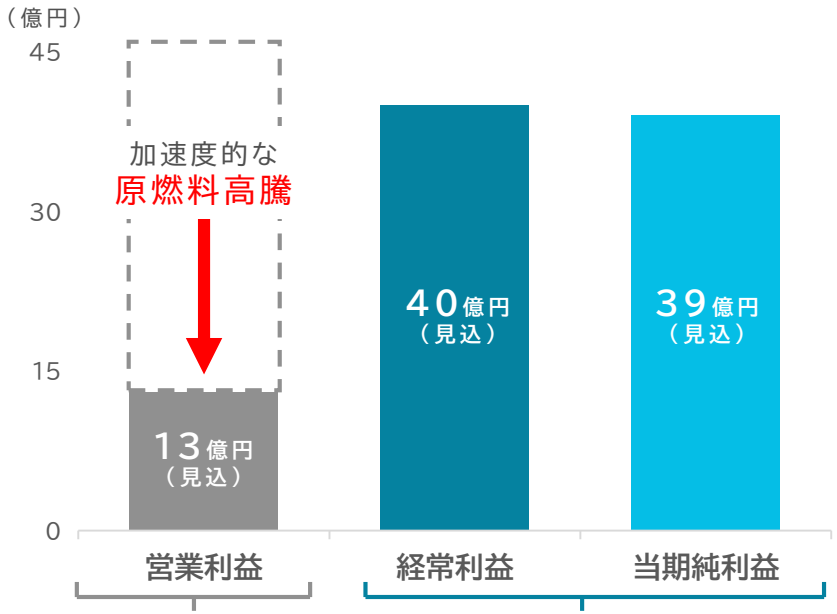
- ウクライナ侵攻や急速な円安など非常に厳しい外部環境が続くなか
  販売面は好調である反面、営業利益の目標達成は厳しい状況
- いっぽう、経常利益・当期純利益は一定の利益を確保できる見込みであり、
  ROEについても諦めずに目標に向け成果を積み上げていく

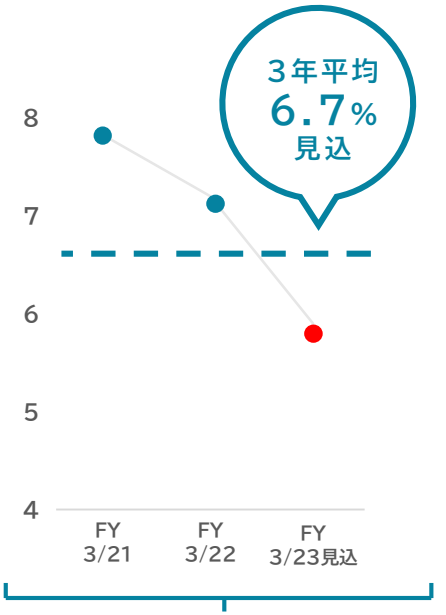
売上高目標
825億円

営業利益(営業利益率)目標
45億円 (5.5%)

ROE目標
6.5%







着実に達成見込み

達成は厳しい状況

一定の利益を確保

諦めず目標へチャレンジ

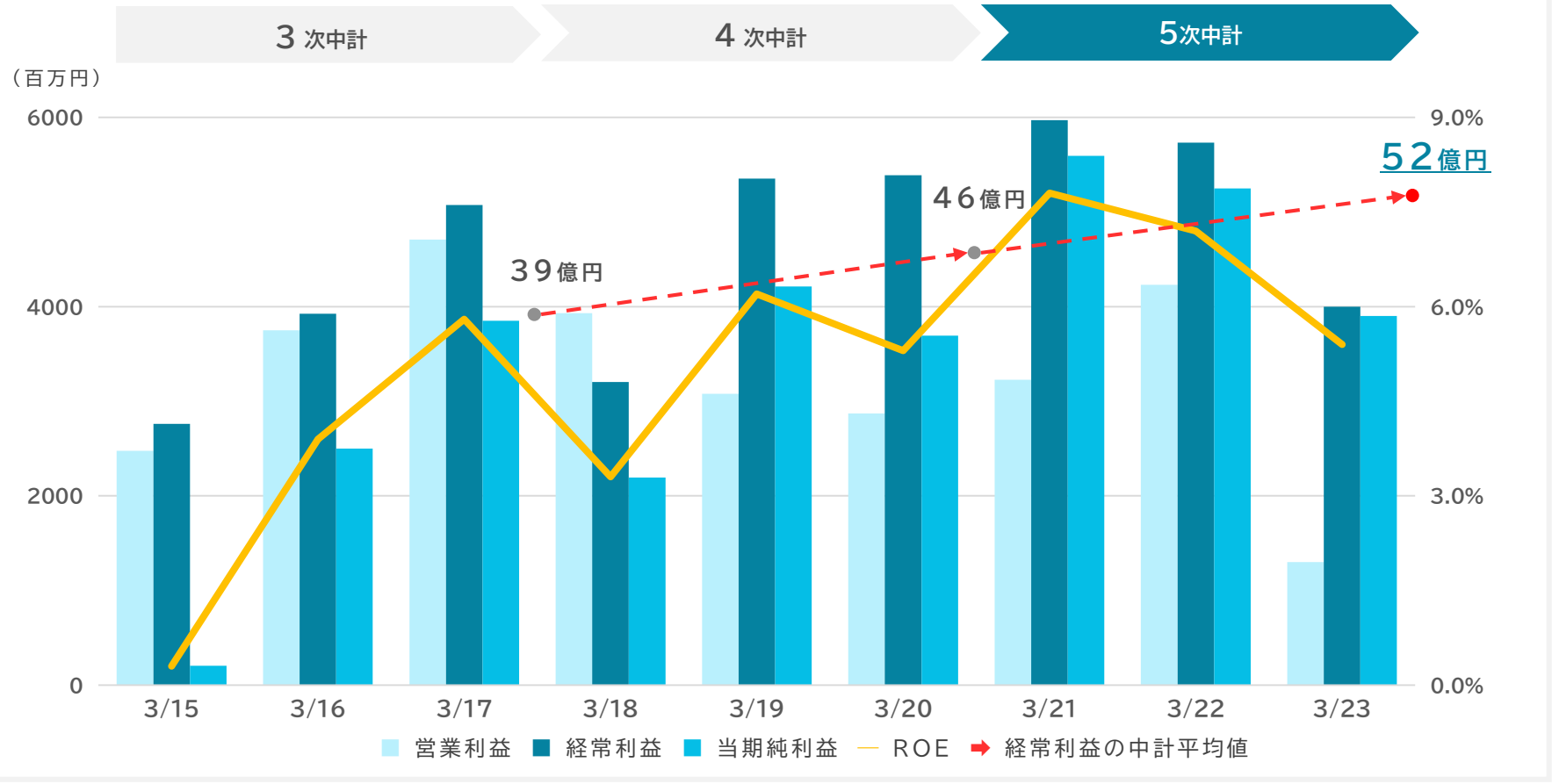
第5次中計最終年度の進捗

- 価格修正・コストダウン・新商品の早期収益化を実施することで
  厳しい外部環境を打ち返し、来期に向けて大きな利益改善を図る

利益のトレンド

- 第3次中計からの中期スパンにおいて経常利益ベースでは上昇基調をキープ
- ROEについても堅調に推移

3次中計からの利益トレンドと各中計における経常利益の平均値



基盤製紙3事業の概況

- 製紙3事業のうち生活必需品が主力の2事業はデジタル化の影響を受けず販売は好調
- デジタル化の影響で減少傾向にある情報伝達媒体を扱う特殊素材事業では
  特殊紙で培ってきた様々な経営資源を新たな収益源に投下し事業構造変革を図る

	産業素材事業	生活商品事業
デジタル化 影響なし	 巣ごもりによる通販需要の増 加等も加わり段ボール原紙の 販売は堅調に推移	 衛生意識の高まりにより ペーパータオルの 需要は拡大傾向

デジタル化
影響あり

特殊素材事業における事業構造改革

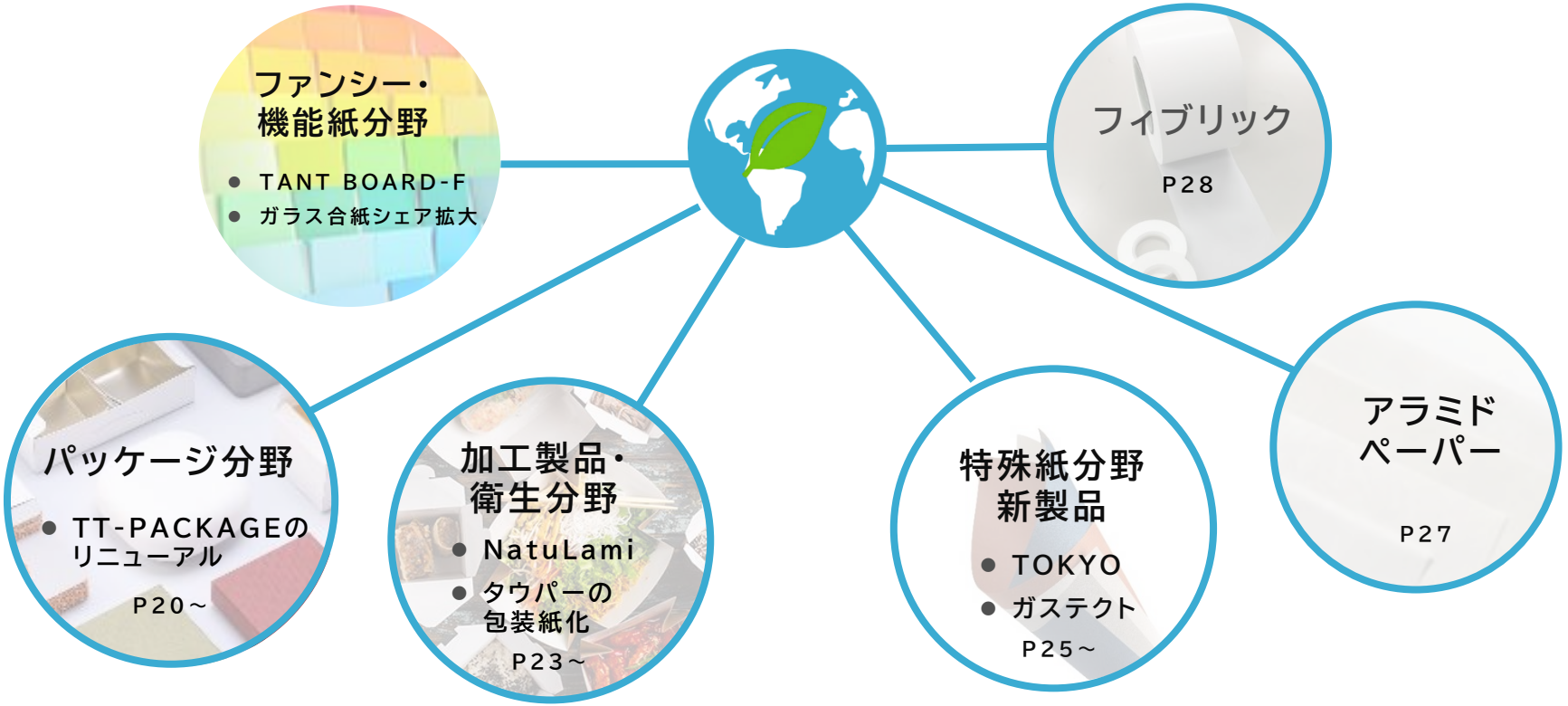
人財
技術
ノウハウ

→ フィブリック
→ パッケージ
→ 合成繊維製品
→ 工業用機能紙

減少する製品群を補う
新製品開発・新事業推進

紙化・バイオマス化の推進

環境意識の高まりを契機とし、様々な事業分野において紙化・バイオマス素材化を推進



＜ マーケット&リサーチ(M&R)活動の推進 ＞

シーズ

当社固有技術＋組み合わせ

マッチング

市場ニーズ

- 環境 -

- 衛生 -

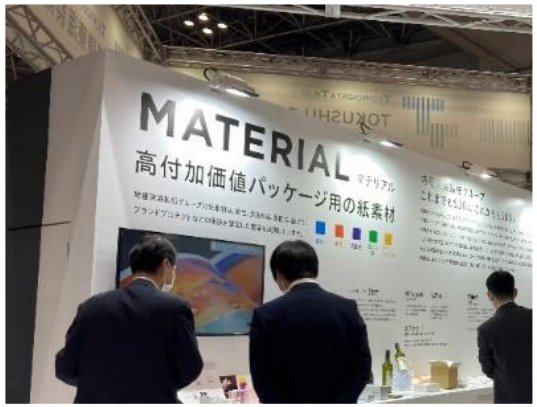
※画像はイメージ

パッケージ分野 ： 活動の近況

- 展示会や専用WEBサイトを通じて情報を発信
- 知名度の浸透を図るとともに顧客との関係構築に注力

TOKYO PACK 2022

サンプル請求
250社



面談希望
110社

TT-PACKAGE CONCIERGE

お客様の”課題解決事例“や、
紙とパッケージにまつわる”ナレッジ“など
ビジネスに役立つトピックスを随時更新中

（https://www.tt-package.com/）

パッケージ分野 ： TT-PACKAGE

- 製品体系をリニューアル
- TT-PACKAGEの中に紙素材シリーズ「MATERIAL」、立体シリーズ「FORM」を創設

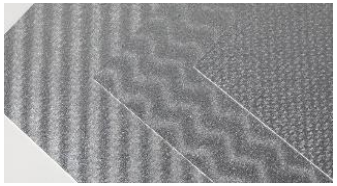
パッケージ用紙素材
TT PACKAGE

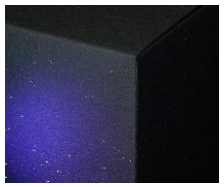
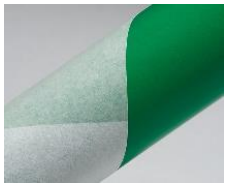
立体物への挑戦
MOLDEA

TT PACKAGE へ集約＆製品別にカテゴライズ

TT PACKAGE MATERIAL マテリアル

- TT-PACKAGEの従来のシート製品をラインナップ



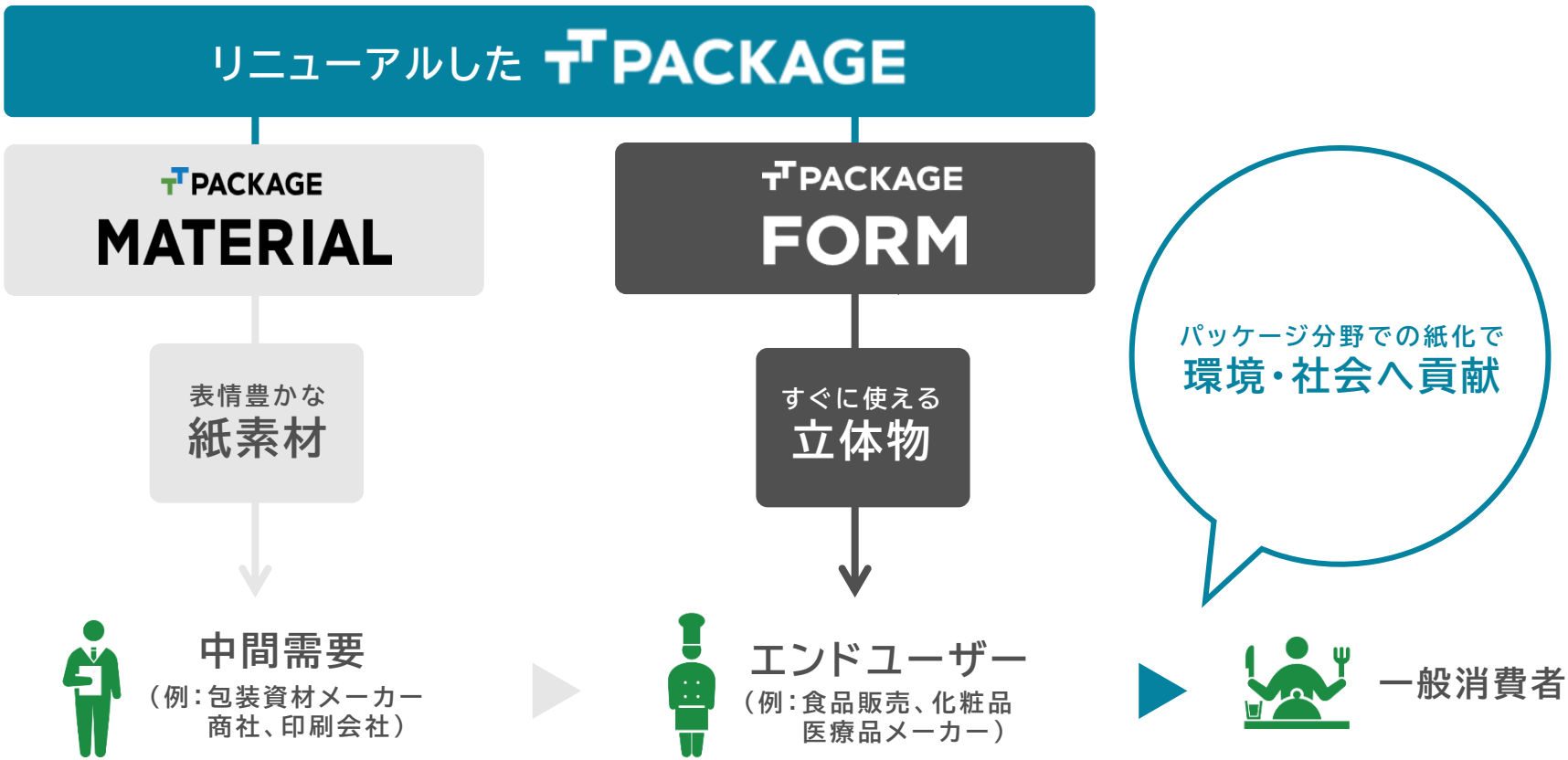
TT PACKAGE FORM フォルム

- 3つのジャンルで構成される立体製品シリーズ
- 在庫販売品＋受注生産品をラインナップ

パッケージ分野 ： TT-PACKAGEの狙い

- 中間需要家からエンドユーザー、その先にある消費者の脱プラニーズにも応えていく

パッケージ事業による価値提供のイメージ

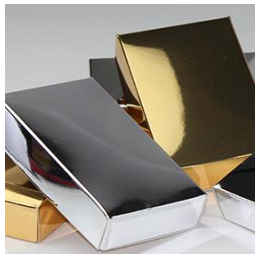


加工製品・衛生分野（生活商品事業）：加工製品事業

- ラミネート加工などを活用した環境配慮型を中心にラインナップ
  特殊素材の製品と組み合わせでパッケージ製品のバリエーションを拡大

主なラインナップ

MILAX DECORATE



MILAX FOODS

paper cushion

組み合わせによる相乗効果

MILAX

×

和纸乐活 KAMI LAB.

=

ユーザーのニーズによって
バリエーションが選べる立体製品

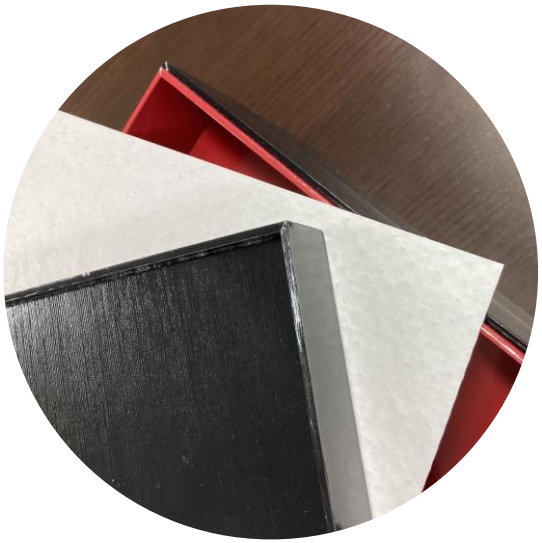
※上記ラインナップは全体の一部です。

加工製品・衛生分野（生活商品事業）： 採用事例

- 展示会などを通じてパッケージユーザーに手応え
  NatuLami ブランドに限らず“紙化”をテーマとした採用が増加傾向

採用・新製品発売事例

大手コンビニチェーン
おせち



話題のテーマパーク
飴玉の包み

市販用の
紙包装タウパー

特殊紙分野新製品（特殊素材事業）：「TOKYO™」

- イタリアの特殊紙大手FAVINI社とコラボした環境配慮型ファンシーペーパー新製品を販売開始
- 新たな海外事業として欧米・アジアでの展開を図る

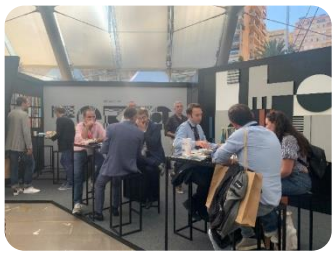
Collaboration

特種東海製紙

- 染色・エンボス技術
- デザイン開発

FAVINI社

- 欧州を中心としたマーケティング力
- 営業力



- “LuxePack Monaco”にてFAVINI社より発表
- 風合いやコンセプトに好評

Feature

- 市中回収古紙由来のパルプ**40%**以上を配合したファンシーペーパー

- **グローバルな販売網**を持つFAVINI社より販売

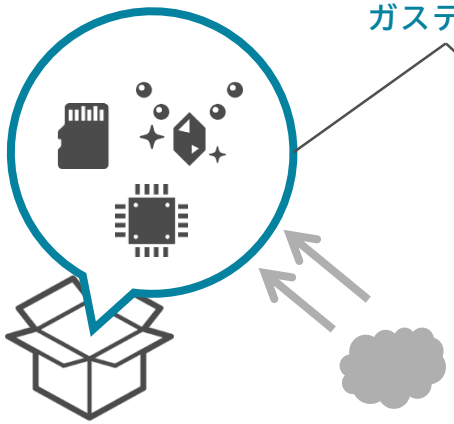
特殊紙分野新製品（特殊素材事業）：「ガステクト®」

- 腐食性ガスを吸着する包装材「ガステクト®」を近日発売

製品の特徴

- 銅および銀を腐食させる硫黄系のガスを吸着
- 電子材料・金属部品・宝飾品などをガスから保護

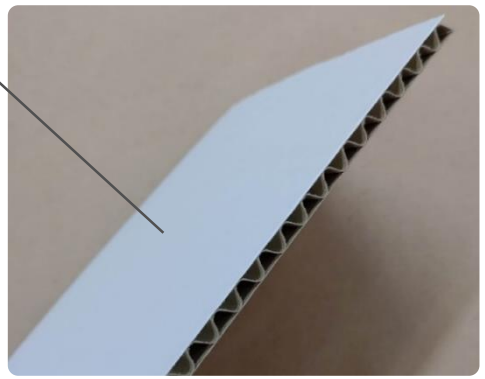
イメージ



使用例

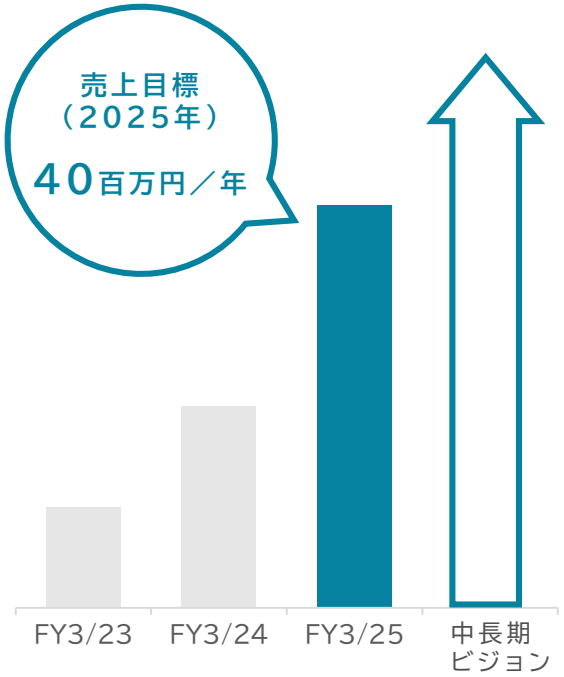
- 段ボールの内側へ貼付
- 内容物の上から被せる

ガステクト



販売計画

電子部品・宝飾品搬送時や温泉地での金属部品保護をターゲットに販売予定



アラミドペーパー（特殊素材事業）： 東レグループとの協働

- 販売を順調に伸ばしている「TT-TOKRON®」で協働した東レグループとともに合成繊維の湿式不織布の製造・販売事業へ本格参入する

4 次中計

東レグループ
トーレ・アドバンスト・
マテリアルズ・コリア社
（TAK社）

高機能合成繊維

☑ 合成繊維シート
開発に注力

製造技術

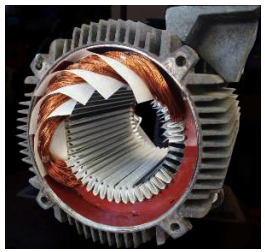
特種東海製紙

5 次中計

☑ TT-TOKRON®発売

- TAK社製の高耐熱アラミド繊維を当社の製造技術でシート化
- 変圧器やモーター用の絶縁材として2020年に上市

採用実績は順調に増加



※画像は使用イメージ

中長期FORECAST

アラミド繊維に限らない
新たな機能性シート
開発・と拡販を図る

TT-TOKRONを含む
合成繊維事業が
当面の目標とする事業規模

売上高
30億円／年

フィブリック事業

- リチウムイオン二次電池向けセルロース系セパレータの販売を開始
- ユーザーからの好反応を受けて新たな設備投資を計画

LIB向けとしての 高い優位性

	フィルム	不織布	FIBLIC
耐 熱	△	○	○
浸 透	△	○	○
細孔径	○	×	○
薄 さ	○	△	○
強 度	◎	△	○~△

ユーザーから頂いた 課題をクリア

需要増加を見据えて 生産能力を強化

- 採用頂いたユーザーから フィブリックへ増産の期待
- 中長期的には受注量が マシン能力を上回る可能性

2023年~
増産改造を実施

1 2023年3月期第2四半期業績

2 2023年3月期業績見通し

3 IRトピックス

4 事業戦略・製紙3事業の推進

5 新たな事業領域への挑戦

6 経営基盤の強化

環境関連事業

- 製紙3事業以外の新たな事業領域として環境関連事業へ挑戦
- 当事業を構成する2つの事業に積極的に経営資源を投入、さらなる成長を図る

自然環境活用事業

&

資源再活用事業

▶

経営資源を活かし
大きな柱へ

資源再活用事業

- リサイクルの高度化と事業拡大に向け今後も資源投下
  産廃専業の業界大手とは異なる成長を目指す

資源再活用事業の成長イメージ

自然環境活用事業 ： ウイスキー事業の活動概況

- WEBサイトやイベントへの参加など情報発信を強化
- 井川蒸溜所のブランド醸成と本格販売に向けた土壌づくりに注力

WEBサイト

十山コーポレートサイトを公開
ウイスキー事業に留まらず
南アルプスの様々情報を紹介

井川の魅力を発信

(https://juzan.co.jp/)

イベント

“静岡クラフトビール＆
ウイスキーフェア”をはじめ、
各地のイベントでブースを出展

ウイスキーファンとの交流

品評会

アジア最大級のコンペティション
TOKYO WHISKY&SPIRITS
COMPETITION

ニューカマー賞を受賞

自然環境活用事業：「NEW BORN Non-Peat 2022」

- 長期熟成への期待を高める取り組みの第一歩として
  約600樽のうち1樽限定で“ニューボーン”※として発売
- 今回の販売をきっかけに井川ブランドの知名度向上を図る

製品情報

取り扱い	東京・静岡のバー、小売店等
内容量	200ml
瓶詰本数	923本
発売日	2022年10月24日
希望小売価格	4,800円（+tax）

※熟成3年未満のウイスキーになる前のスピリッツ

1 2023年3月期第2四半期業績

2 2023年3月期業績見通し

3 IRトピックス

4 事業戦略・製紙3事業の推進

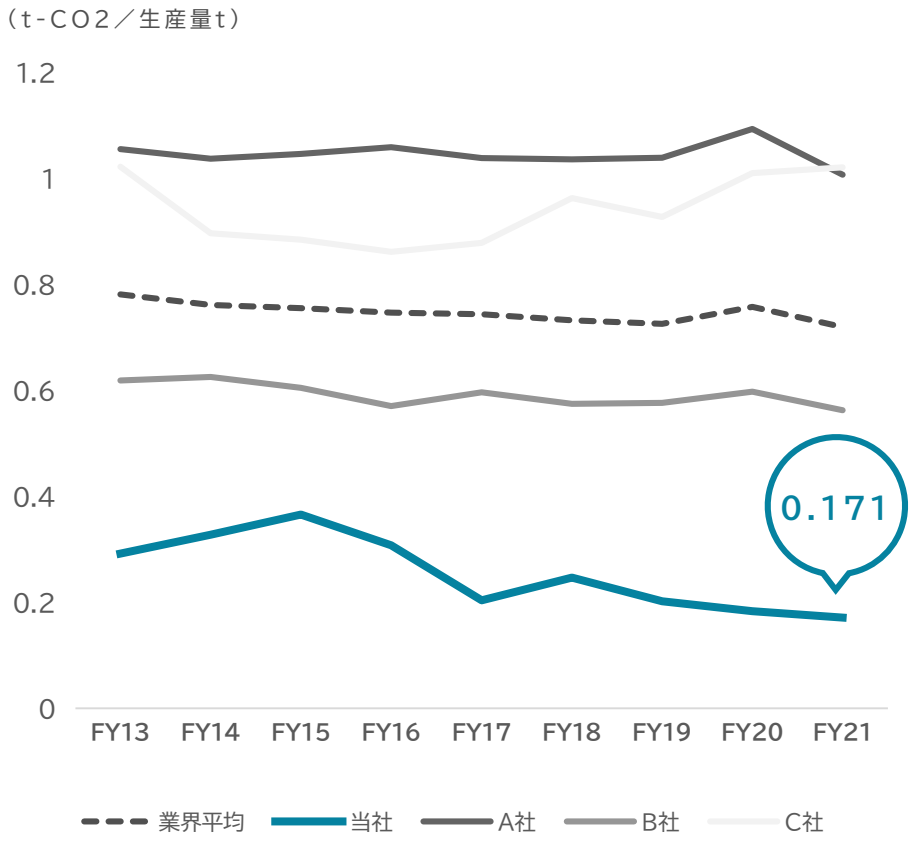
5 新たな事業領域への挑戦

6 経営基盤の強化

ESG情報　CO2排出量の推移

- 早期のバイオマスボイラ導入により、現時点で製紙業でも群を抜いた低炭素操業を実現
- 2026年度内には島田のボイラをスクラップ＆ビルド、さらにCO2排出量削減へ

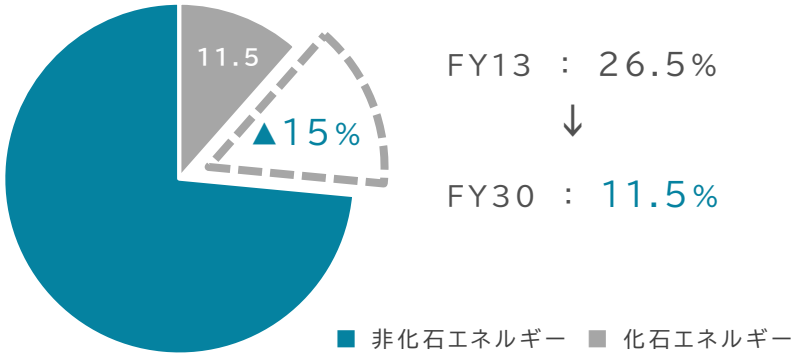
化石エネルギー起源CO2排出原単位※



13B

- 10Bのスクラップ＆ビルドとして2023年9月着工、完成は2026年度を予定
- 燃料は木質チップとRPFで従来通り化石エネルギー使用量をさらに削減させる効果を見込む

＜FY30 島田工場における化石エネルギー比率見込み（対FY13）＞



13Bの導入による効果を含めた
当社FY30化石エネルギー起源CO2排出原単位は
0.140 t-CO2／t　まで抑えられる見込み

※各値は当社による推計、当社値は特種東海製紙と新東海製紙の合算

ESG情報　生物多様性に係る取り組み

- 9月付で「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加
- コーポレートアイデンティティでもある井川社有林でのOECM登録を目指す

ESG情報　ガバナンス体制の強化

- 7月より独立社外取締役4名の体制となり、新CGコード明記の比率1/3を上回る
- 取締役会での議論活性化のため新任社外取締役のうち1名は経営経験者を選任

経営体制

取締役

監査役

スキルマトリクス

氏　名	企業経営	グローバル	研究開発	営業	製造・技術	財務・会計	法務
松田 裕司	●	●	●	●			
渡邊 克宏	●				●		
佐野 倫明	●				●		
毛利 豊寿	●		●		●		
大沼 裕之	●			●			
金澤 恭子		●					●
磯貝　明			●				
長坂　隆						●	
石川 雄三	●	●		●			

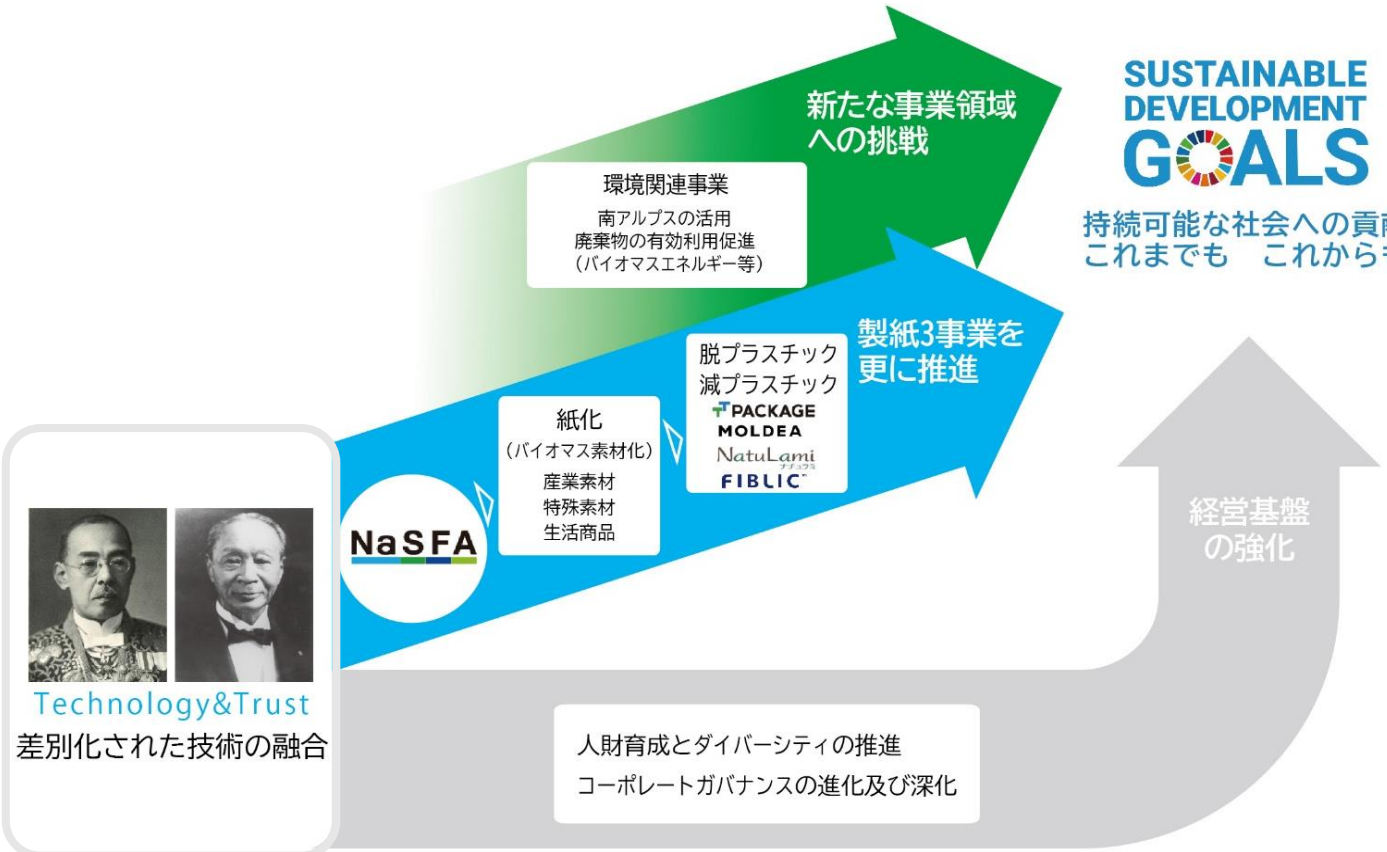
※上記の内容は、各人の有する全ての経験・専門性を表すものではありません

当社の目指す方向性

目指すべき企業像

「技術と信頼で顧客と共に未来をひらくオンリーワンビジネス企業」

持続可能な社会に向けた企業活動を推進



※『統合報告書2021』トップメッセージより引用

TOKUSHU
TOKAI
PAPER

お問い合せ先：財務・IR本部

〒104－0028

東京都中央区八重洲2－4－1
住友不動産八重洲ビル

Tel　03－3281－8581

Fax　03－3281－8591

E-mail：ttp.ir@s.tt-paper.co.jp

※本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。